

びろば



消防団員の基本「規律訓練」

地域防災のリーダー 町消防団が基礎訓練

町消防団（若梅喜作団長）では、5月9日の日曜日、役場駐車場を会場に団員の基礎訓練を行いました。

この訓練は、各団員に基礎的な規律と消防ポンプの取り扱いなどについてを習得してもらおうと、毎年この時期に実施しているもので、今年も本部役員をはじめ各部の部長、そして新入団員など約160名が参加。消防署職員の指導のもと、みなさん熱心に取り組んでいました。

消防といえば火事を消すだけだと思われがちですが、梅雨どきの集中豪雨や台風、地震などのときも、わたしたちの暮らしを守る地域防災のリーダーとして活躍しています。

これからも頑張ってください。



消防団員の指導による機械の取り扱い訓練

自然に親しみながら環境意識を育む『山学校』を開校 —大総小学校—

5月15日の土曜日、大総小学校で環境教育の一環として『山学校』を開校しました。

この日行われた“山開き”には、4～6年生や父兄など約100名が参加。日本ネイチャーゲーム協会の上級指導員「小池清一」氏を招いて、校庭の樹木や芝生を使ってコウモリゲームや簡単なクイズなどが行われ、楽しい山開きとなりました。

『山学校』は、児童たちに自然に親しみながら環境意識を育んでもらおうと開校したもので、学校近くの山林を開放してもらい、6月中に山から竹を切り出し、その竹で“竹ぼうき”などを作る予定だそうです。

環境問題が騒がれている昨今、子どもたちに“自然の大切さ”を実感してもらおう『山学校』、今後もぜひ続けてもらいたいと思います。



コウモリゲームを楽しむ子どもたち



将来は1号線のように桜の名勝になるといいですね

栗山川堤防に桜の苗木を植樹 —横芝ロータリークラブ—

5月10日（月）、横芝ロータリークラブ（越川博光会長）のみなさん約30名が、屋形三本松地先の栗山川堤防に100本の桜の苗木を植樹しました。

『栗山川』は、平成9年7月に「ふるさとの川整備河川」として事業認定を受け、現在、まちづくりと一体となった遊歩道や親水公園等の整備が進められておりますが、三本松地先の堤防下は、雑草や篠竹がうっそうと生い茂っていたため、これを見た横芝ロータリークラブのみなさんが、栗山川の環境美化に協力しようとして約500mにわたって草刈りや空き缶拾いなどを行ない、そこに桜の苗木を植樹したものです。

横芝ロータリークラブでは、このほかにも海岸清掃や花植えなど、毎年、様々な社会奉仕活動を展開しております。

今後も、住み良い町づくりのためにご協力をお願いします。